

工 事 番 号		主 管 課 長		課 長 補 佐		係 長		照 査		設 計 者	
線石巻市蛇田字東道下地内											
令和 7 年度											
業務名		西流下刈場処理分区実施設計業務委託設計書									
一金 円 工 費 内						起 工 理 由					
工 期						施 工 方 法 其 他					
自 令和 年 月 日 至 令和 8 年 1 月 30 日 日間											

< 概 要 >

実施設計業務		
管路施設実施設計業務（新設・詳細設計）		
推進工法（刃口・小口径）	L = 3 5 0 m	
測量業務		
4 級基準点測量	N = 6 点	
路線測量	L = 0 . 3 5 km	
地質調査業務		
機械ボーリング	一式	
解析等調査業務		
解析等調査	一式	

下水管渠実施設計業務委託一般仕様書

第1章 総則

1. 1 業務の目的

本委託業務（以下業務という。）は、本仕様書に基づいて、特記仕様書に示す委託対象地域の工事を実施するために必要な設計図、計算書、設計書等の作成を行うことを目的とする。

1. 2 一般仕様書の適用範囲

業務は、本仕様書に従い施行しなければならない。ただし、特別な仕様については、特記仕様書に定める仕様に従い施行しなければならない。

1. 3 費用の負担

業務の検査等に伴う必要な費用は、本仕様書に明記のないものであっても、原則として受託者の負担とする。

1. 4 法令等の遵守

受注者は、業務の実施にあたり、関連する法令等を遵守しなければならない。

1. 5 中立性の保持

受注者は、常にコンサルタントとしての中立性を保持するよう努めなければならない。

1. 6 秘密の保持

受注者は、業務の処理上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

1. 7 公益確保の責務

受注者は、業務を行うに当たっては公共の安全、環境の保全、その他の公益を害することの無いように努めなければならない。

1. 8 許可申請

受注者は、工事に必要な許可申請（占用許可等）に関する事務に必要な図面作成を遅滞なく行わなければならない。

1. 9 提出書類

受注者は、業務の着手及び完了にあたって、発注者の契約約款に定めるもののほか、下記の書類を提出しなければならない。

（イ）着手届 （ロ）工程表 （ハ）管理技術者届 （ニ）職務分担表

（ホ）完了届 （ヘ）納品書 （ト）業務委託料請求書等

なお、承認された事項を変更しようとするときは、そのつど承認を受けるものとする。

1.10 管理技術者及び技術者

（1）受注者は、管理技術者及び技術者をもって、秩序正しく業務を行わせるとともに、高度な技術を要する部門については、相当の経験を有する技術者を配置しなければならない。

（2）管理技術者は、技術士（下水道）又は下水道法に規定された資格を有するものとし、業務の全般にわたり技術的管理を行わなければならない。なお、主要な設計協議ならびに現地調査に出席しなければならない。

（3）受注者は、業務の進捗を図るため、契約に基づく必要な技術者を配置しなければならない。

1.11 工程管理

受託者は、工程に変更を生じた場合には、速やかに変更工程表を提出し、協議しなければならない。

1.12 成果品の審査及び納品

（1）受注者は、成果品完成後に発注者の審査を受けなければならない。

（2）成果品の審査において、訂正を指示された箇所は、ただちに訂正しなければならない。

（3）業務の審査に合格後、成果品一式を納品し、発注者の検査員の検査をもって、業務完了とする。

（4）業務完了後において、明らかに受注者の責に伴う業務のかしが発見された場合、受注者はただちに当該業務の修正を行わなければならない。

1.13 関係官公庁等との協議

受注者は、関係官公庁等と協議を必要とするとき又は協議を受けたときは、誠意をもってこれにあたり、この内容を遅滞なく報告しなければならない。

1.14 証明書の交付

必要な証明書及び申請書の交付は、受注者の申請による。

1.15 疑義の解釈

本仕様書に定める事項について、疑義を生じた場合又は本仕様書に定めのない事項については、発注者、受注者協議のうえ、これを定める。

1. 16 設計業務等委託契約における設計変更について

設計業務等委託契約における設計変更については、宮城県土木部策定の「設計業務等委託契約における設計変更ガイドライン 平成29年10月」を準用するものとする。

1. 17 積算単価の適用年月日について

本業務の積算単価適用年月日は、令和7年5月1日以降適用単価である。

1. 18 単価表の記載について

単価表の余白に記載されている選択条件は積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

第2章 調査

2. 1 資料の収集

業務上必要な資料、地下埋設物及びその他の支障物件（電柱、架空線等）については、関係官公庁、企業者等において将来計画を含め十分調査しなければならない。

2. 2 現地踏査

特記仕様書に示された設計対象区域について調査し、地勢、土地利用、排水区界、道路状況、水路状況等現地を十分に把握しなければならない。

2. 3 地下埋設物調査

特記仕様書に示された設計対象設計区域について、水道、下水道、ガス、電気、電話等地下埋設物の種類、位置、形状、深さ、構造等をそれらの管理者が有する資料と照合し、確認しなければならない。

2. 4 公私道調査

道路、水路等について公図並びに土地台帳により調査確認しなければならない。

2. 5 在来管調査

在来管調査は、2. 3 地下埋設物調査で行う範囲を超える調査であり、管路、マンホール及び柵の老朽度、堆積物の状況、破損の状態、構造、底高等現地作業を伴うものをいう。当該調査は別途計上とする。

2. 6 既設管調査

管路内調査は、TVカメラ調査又は潜行目視調査、劣化度調査図書に基づき管内にて管きょの劣化状況や堆積物等の有無を把握する調査であり、管きょの老朽度、堆積物の状況、破損の状態、構造、支障物件の状況等現地調査を伴うものをいう。TVカメラ調査又は潜行目視調査、劣化度調査は別途計上とする。

2. 7 現場環境調査

道路状況、周辺状況を現地にて把握し、工事の実施における制約条件を確認しなければならない。

第3章 設計一般

3. 1 打合せ

(1) 業務の実施にあたって、受注者は発注者と密接な連絡を取り、その連絡事項をそのつど記録し、打合せの際、相互に確認しなければならない。

(2) 設計業務着手時及び設計業務の主要な区切りにおいて、受注者と発注者は打合せを行うものとし、その結果を記録し、相互に確認しなければならない。

3. 2 設計基準等

設計にあたっては、発注者の指定する図書及び本仕様書第7章準拠すべき図書に基づき、設計を行う上でその基準となる事項について、発注者と協議の上、定めるものとする。

3. 3 設計上の疑義

設計上疑義の生じた場合は、発注者と協議の上、これらの解決にあたらなければならない。

3. 4 設計の資料

設計の計算根拠、資料等はすべて明確にし、整理して提出しなければならない。

3. 5 事業計画図書の確認

受注者は、第2章調査の各項の調査等と併せて、設計対象設計区域にかかる事業計画図書の確認をしなければならない。

3. 6 参考資料の貸与

発注者は、業務に必要な下水道事業計画図書、測量、土質調査資料、既設管資料、在来管資料、道路台帳、地下埋設物調査、下水道標準構造図等の資料を所定の手続によって貸与する。

3. 7 参考文献等の明記

業務に文献、その他の資料を引用した場合は、その文献、資料名を明記しなければならない。

第4章 設計細則（詳細設計）

4. 1 設計図の作成

主要な設計図は、下記により作成することとし、図面完成時には発注者の承認を受けなければならない。

（1）位置図

位置図（ $S=1/10,000\sim 1/30,000$ ）は地形図に施工個所を記入する。

（2）系統図

系統図（ $S=1/2,500$ ）は、地形図に設計区間を記入する。

（3）平面図

平面図（ $S=1/500$ ）は、測量による平面図及び道路台帳に基づいて、設計区間の占用位置、人孔及び立坑の位置・管渠の区間番号、形状、管径、勾配、区間距離及び管渠の名称等を記入する。

（4）詳細設計図

詳細設計図（ $S=1/50\sim 1/100$ ）は主要な地下埋設物さくそう箇所、重要構造物近接箇所及び河川、鉄道、国道等横断箇所等特に詳細図を必要とし、発注者が指示する場合に平面及び横断面図を作成する。

（5）縦断面図

縦断面図（ $S=縦1/100、横1/500$ ）は、平面図と同一記号を用いて次の事項を記入する。

管渠の位置、平面図との対照番号、形状、管径、勾配、区間距離、地盤高、管底高、土被り、人孔の種別及び河川、鉄道、国道等の位置と名称、流入及び交差する管渠の位置、番号、形状、管径、管底高、主要な地下埋設物の名称、位置、形状、寸法等及び管渠の名称等を記入する。

（6）横断面図

横断面図（ $S=1/50$ ）は、平面図と同一記号を用いて次の事項を記入する。

管渠の位置、平面図との対照番号、形状、管径、地盤高、管底高及び必要な地下埋設物の名称、位置、形状、寸法等及び函渠の名称又は横断位置の名称等を記入する。

（7）構造図

構造図（ $S=1/10\sim 1/100$ ）は、次の要領で記入する。

発注者の下水道標準構造図によるものは作成を要しないが、次のような特殊構造のものは縦断面図と同一記号を用いて構造図を作成する。

特殊な布設構造図、接続室、雨水吐室及び吐口、伏越、特殊な形状の人孔及び枘等特に構造図を必要とし、仕様書に明記されているもの。

（8）仮設図

仮設図（ $S=1/10\sim 1/100$ ）は、次の要領で記入する。

仮設図は、構造図と同一記号を用いて作成する。

設計図には、掘削幅、長さ、深さ、地盤高、床堀高及び使用する材料の位置、名称、形状、寸法、他の地下埋設物防護工並びに補助工法の範囲、名称等を記入する。

4. 2 各種計算

管種、管基礎、推進力及び構造計算、仮設計算、補助工法、耐震設計等の計算にあたっては、発注者と十分打合せの上、計算方針を確認して行わなければならない。

4. 3 数量計算

土工、管、管基礎、覆工等及び構造物、仮設、補助工法等材料別に数量を算出する。

4. 4 報告書

報告書は、当該設計に係るとりまとめの概要書を作成するものとし、その内容は、設計の目的、概要、位置、設計項目、設計条件、土質条件、埋設物状況、施工方法、工程表等を集成するものとする。

第5章 照査

5. 1 照査の目的

受注者は業務を施行する上で技術資料等の諸情報を活用し、十分な比較検討を行うことにより、業務の高い質を確保することに努めるとともに、さらに照査を実施し、設計図書に誤りがないよう努めなければならない。

5. 2 照査の体制

受注者は遺漏なき照査を実施するため、相当な技術経験を有する照査技術者を配置しなければならない。

5. 3 照査事項

受注者は設計全般にわたり、以下に示す事項について照査を実施しなければならない。

- (1) 基本条件の確認内容について
- (2) 比較検討の方法及びその内容について
- (3) 設計計画（設計方針及び設計手法）の妥当性について
- (4) 計算書（構造計算書、容量計算書、数量計算書、耐震設計計算書等をいう。）について
- (5) 計算書と設計図との整合性について

第6章 提出図書

6. 1 提出図書

提出図書は次項により、業務内容に応じて提出しなければならない。

6. 2 実施設計関係提出図書（基本設計）

図書名	縮 尺	形状寸法・提出部数
(1) 位置図	1/10,000～1/30,000	A 3・2部
(2) 区画割施設平面図	1/2,500	〃
(3) 縦断面図	縦1/100、横1/2,500	〃
(4) 流量計算表		A 4又はA 3・2部
(5) 概略構造図	1/10～1/100	A 3・2部
(6) 概略工法検討書		A 4・2部
(7) 報告書		〃
(8) 打合せ議事録		〃
(9) その他参考資料（地下埋設物調査資料他）		A 3・2部

6. 3 実施設計関係提出図書（詳細設計）

図書名	縮 尺	形状寸法・提出部数
(1) 位置図	1/10,000～1/30,000	A 3・2部
(2) 系統図	1/2,000～1/3,000	〃
(3) 施設平面図	1/300～1/500	〃
(4) 詳細平面図	1/100～1/300	〃
(5) 縦断面図	縦1/100、横1/300～1/500	〃
(6) 横断面図	1/50	〃
(7) 構造図	1/10～1/100	〃
(8) 仮設図	1/10～1/100	〃
(9) 水理計算書		A 4・2部
(10) 構造計算書（耐震設計計算書を含む）		A 4又はA 3・2部
(11) 数量計算書		A 4・2部
(12) 報告書		〃
(13) 特記仕様書		〃
(14) 打合せ議事録		〃
(15) その他の資料		
設計に伴って収集・調査した資料及びその他申請等に関する資料		A 3・2部
(16) 各図面等の電子データ（データのファイル形式については協議による）		2部

第7章 準拠すべき図書

7. 1 準拠すべき図書

業務は、下記に掲げる図書に準拠して行うものとする。これら以外の図書に準拠する場合は、あらかじめ発注者の承諾を受けなければならない。

- (1) 発注者の下水道構造標準図
- (2) 発注者の下水道設計基準
- (3) 発注者の道路埋設標準定規
- (4) 下水道施設計画・設計指針と解説（日本下水道協会）

- (5) 下水道維持管理指針 管路施設編 (")
- (6) 小規模下水道計画・設計・維持管理指針と解説 (")
- (7) 下水道管路施設設計の手引き (")
- (8) 下水道施設の耐震対策指針と解説 (")
- (9) 下水道施設耐震計算例－管路施設編 (")
- (10) 下水道推進工法の指針と解説 (")
- (11) 管きょ更生工法における設計・施工管理ガイドライン (")
- (12) 下水道マンホール安全対策の手引き (案) (")
- (13) 水理公式集 (土木学会)
- (14) コンクリート標準示方書 (")
- (15) トンネル標準示方書 (シールド編) ・同解説 (")
- (16) " (山岳工法編) ・ " (")
- (17) " (開削工法編) ・ " (")
- (18) 道路技術基準通達集 (国土交通省)
- (19) 道路構造令の解説と運用 (日本道路協会)
- (20) 道路土工－仮設構造物工指針 (")
- (21) 道路土工－擁壁工指針 (")
- (22) 道路土工－カルバート工指針 (")
- (23) 共同溝設計指針 (")
- (24) 道路橋示方書・同解説 (")
- (25) 水門鉄管技術基準 (電力土木技術協会)
- (26) 改訂新版建設省河川砂防技術基準 (案) 同解説 (日本河川協会)
- (27) 港湾の施設の技術上の基準・同解説 (日本港湾協会)

下水管渠実施設計業務委託特記仕様書

石 巻 市 建 設 部

1. 特記仕様書の適用範囲

この仕様書は「下水管渠実施設計業務委託一般仕様書」の第1章1及び2に定める特記仕様書とし、この仕様書に記載されていない事項は、前記一般仕様書による。

2. 業務の対象

- (1) 名 称 西流下刈場処理分区実施設計業務
- (2) 位 置 (別紙位置図のとおり)
- (3) 排水面積 -
- (4) 設計条件項目

設 計 条 件 項 目 表

項 目	設 計 条 件
工 期	令和7年 月 日 ～ 令和8年1月30日
場 所	石巻市蛇田字東道下 地内
管 径 ・ 工 法 及 び 延 長	推進工法 (刃口・小口径) 350m
特 殊 構 造 物	特殊構造物 (有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>) : 耐震設計 (有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>) 簡易な特殊マンホール (基) 特殊マンホール (基) マンホールポンプ場(2次製品) (基) マンホールポンプ場(現場打ち) (基) 吐口, その他 ()
報 告 書 作 成	(有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>)
設 計 協 議	第1回打合せ、中間打合せ 3 回、最終打合せ
施 工 法 等 の 比 較 検 討	(有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>) a) 管路の開削工法 b) ①急曲線 ②土被り1.5D以下 ③近接構造物(箇所) ④軌道横断(箇所) ⑤河川横断(箇所) ⑥高架道横断(箇所) c) ①仮排水 ②既設管撤去
耐震計算(応答変位法)	(有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>)
耐 震 設 計	レベル1地震動、レベル1及び2地震動、無
設 計 条 件 補 正	有 () (無 <input checked="" type="radio"/>)
地 盤 条 件 補 正	有 () (無 <input checked="" type="radio"/>)
工 区 数 補 正	1 工区
そ の 他 補 正	有 () (無 <input checked="" type="radio"/>)

特 記 仕 様 書（地質調査）

（適用範囲）

第1条 本特記仕様書は、石巻市発注の下水道地質調査業務に適用する。

（業務管理）

第2条 以下のとおりとする。

2-1 業務管理

受託者は契約書、設計図書、宮城県土木部共通仕様書（土木工事委託編）、本特記仕様書及び関係法規を遵守し、調査職員の指示を受け正確に履行しなければならない。

2-2 調査技術者

- （1）この調査を担当する技師及び技術員は全国地質調査業協会連合会の行う地質調査技師試験に合格したものでボーリング技術に習熟した者でなければならない。
- （2）調査担当技師、技術員についてはあらかじめ発注者に経歴表を添付した名簿を提出し、承認を得なければならない。
- （3）担当技師または技術員は、ボーリング作業に実際に従事し、ボーリング施工中、地盤の構成と土質ならびに支持力等を判断するために下記事項を必ず日報に記入し調査職員に提出しなければならない。

イ）掘進状況

ロ）掘進標高、深度、孔内水位、層厚、資料採取の位置、土質記号、色調、土質名、地層の構成、転石の大きさ（その含有率％）、相対密度及びコンシステンシー、粒度構成

ハ）N値の測定位置及び測定値

ニ）孔内の状況、特に崩壊、湧水（被圧水等）、漏水の起こった位置とその状況

ホ）作業着手前、一定時刻の孔内水位

ヘ）その他必要事項一切

（履行期間）

第3条 本委託の履行期間は、設計書に示す期日とする。

（秘密の保持）

第4条 受託者は、業務内容及びその成果を発注者の承認を得ずに第三者に知らせてはならない。

（調査の目的）

第5条 この調査は、公共下水道事業に際し、計画路線の基礎地盤の構成、支持力、地下水の状態及び土の性質などを知るために行い、下水道管渠設計の資料に資することを目的とする。

（調査範囲）

第6条 別添平面図による。なお、詳細なボーリング位置については、調査職員と協議の上決定するものとする。

（調査項目）

第7条 別添仕様書による。なお、現場の状況によって疑義が生じたときは、調査職員と協議の上決定するものとする。

(業務内容)

第8条 以下のとおりとする。

8-1 計画準備

受注者は、業務の目的・主旨を把握した上で、特記仕様書に示す業務内容を確認し上記の項目について業務計画書を作成し、調査職員に提出するものとする。また、現地調査に先立ち既存の調査報告書（貸与資料）、文献等により資料収集整理を行い、より効率的な現地調査に努めること。

8-2 ボーリング調査

(1) 調査のために第三者の土地に入り、又は一般の交通に支障を及ぼす等、第三者に損害を与える恐れのあるときは、受託者はあらかじめ調査職員と細部にわたって打ち合わせを行うこと。

特に、調査位置が民地の場合は、地権者の承諾を得るとともに調査孔の閉塞及び後片づけについて徹底すること。また、地下埋設物等については事前の調査を十分行い、事故の無いように万全を期すること。

(2) 位置の確認

ボーリング位置は、現地調査を行いその結果に基づいて調査職員と協議して決定し、位置を平面図に記入する。

(3) 測量

ボーリング削孔に先立ち、調査地点の位置及び標高は指定した基準点及びベンチマーク標を基準として測定しなければならない。

(4) ボーリング掘削

イ) ボーリング径は、単にボーリングのみの目的の場合は、口径66mmとするが、土質試験を行うためにサンプリングを必要とする軟弱地盤、砂礫地盤の場合には、口径86mmを標準として削孔する。

ロ) 試料は、原則として全掘進延長にわたって採取し、その採取率を100%に近づけるようにできるだけ無水掘を行う。

ハ) ボーリングの終了する深度は調査職員の指示によって決定する。

ニ) ボーリング調査孔に挿入する測管は全部記録写真に撮って記録する。

ホ) ボーリング削孔を完了した場合は、すみやかに調査職員によるボーリング孔長の確認を得ること。

(5) 標準貫入試験

イ) 標準貫入試験の試験位置については、別途協議のこと。

ロ) 試験機の規格、試験方法はJIS A 1219とする。

ハ) 標準貫入試験により得られたサンプルは乾燥しないように標本ビンに詰め、ラベルを貼って、標本箱に格納して提出しなければならない。

(6) 現場透水試験

イ) 現場透水試験の試験土質及び試験区間については、別途協議のこと。

8-3 コアーの整理及び判定

(1) コアーの整理

- イ) コアーの整理箱は長さ1.0m、掘進長5.0m 分試料が一箱に入るよう5 列の溝を設けたものを使用し、掘進前にその予定推量の全長に相当するだけの箱を用意する。
- ロ) コアーの採取後、直ちに採取されたコアーをそのままコアー箱の所定の位置に整理して配列し、採取区分ごとに仕切板を入れてコアー箱には調査地点及び深度を明記すること。なお、一時的に他の容器等に保存し、ボーリング終了後、整理してコアー箱に並べ入れ替えることは採取されたコアーの配列を間違える可能性があるので禁止する。採取率が低く、コアー箱に相当の空間ができてこれを詰めてはならない。
- ハ) コアー写真は、掘進終了後直ちにコアー箱に納められたコアーを1 箱ごとに3 色または5 色の標準色調板を貼付し、画面一杯で鮮明に撮影し、カラー写真（手札以上）で提出する。
- ニ) 採取されたコアーは乾燥、凍結割れ等の変形、変質を防ぐよう留意し、コアー箱は保護覆いのある場所に一括して保管する。

(2) コアーの判定

- イ) 地質、土質の判定には、前述した技師が必ず立ち会って、その責任において行う。
- ロ) 採集されたコアーの判定は、付近の地質状況を加味して行い、必要な場合は調査職員の許可を得て、コアー裁断して裁断面の観察によって判断する。

8-4 地質柱状図の作成

(1) 地質柱状図の作成は、担当技師が行う。

記入項目は、担当技師名、ボーリング技術者名、測点、標高柱状図地質、土質、色調、硬軟地下水位、コアー採取率、標準貫入試験の位置及び結果を記入する。記事欄には、地層の構成、砂礫の状態（礫径、礫種、形状、円礫、角礫）、基岩、破碎状態、孔内破壊及び地層の急変等できるだけ詳細に記入する。

8-5 解析等調査業務

本業務において、一般的な断面図の作成、資料整理とりまとめ以外に解析等調査業務として次のものを含む。

(1) 既存資料の収集・現地調査

ボーリング掘削に先立ち、当該区域及び周辺地の地質的な特徴を把握するため、既存資料の収集及び現地調査を行うものとする。内容については次のとおりとする。

- ①関係文献等の収集と検討
- ②調査地周辺の現地踏査

(2) 総合解析とりまとめ

本業務における総合解析とりまとめとして次のものを行う。

- ①調査地周辺の地形・地質の検討及び地層構成及び分布状況
- ②地質調査結果に基づく土質定数の設定
- ③液状化の検討
- ④掘削底面の安定性の検討

- ⑤埋戻土としての適用性の検討
- ⑥設計・施工上の留意点（開削・推進工法）
- ⑦報告書の執筆
（成果品）

第9条 本業務は、電子納品対象業務とする。成果については以下のとおりとし、成果品を格納した電子媒体を、成果品の印刷出力を製本したものの巻末に添付し2部提出するものとする。

成果品の作成にあたっては「土木設計業務等の電子納品要領（案）－国土交通省」に記されたファイルフォーマットに基づいて電子データを作成する。

- （1）調査終了後は、すみやかにその成果品をとりまとめ、的確なる判定のもとに報告書を作成し提出する。なお、業務のとりまとめにあたっては、委託者から貸与する既往調査成果を取り入れて総合的に整理すること。また、路線縦断方向の地質断面図を作成し、合わせて下水道管渠設計に際して参考となる事項については提言すること。
- （2）調査結果の報告ならびにその表示は、土質工学会制定のデータシートによる。
- （3）報告書の内容は次のとおりとする。

なお、ボーリング柱状図の作成にあたっては「地質調査資料整理要領（案）－国土交通省」に示されたファイルフォーマットに基づいて、写真は「デジタル写真管理情報基準（案）－国土交通省」に基づいて、製図は「CAD製図基準（案）－国土交通省」に準拠して作成するものとする。

- イ）調査概要
- ロ）地質概要
- ハ）調査結果
- ニ）考察
- ホ）各種添付図面類
 - ａ）調査位置平面図、縦断図
 - ｂ）ボーリング柱状図
 - ｃ）地質断面図
 - ｄ）各種調査成果図
- ヘ）その他特別に指定されたもの

- （4）報告書の末尾には、調査担当者及び照査者の所属・氏名を記載すること。
- （5）調査完了後、コアー箱に添付して提出する書類は次のものとする。

- 1）作業日報 1 部
- 2）報告書（電子媒体を添付したもの） 2 部
- 3）その他必要な書類一式

（その他）

第10条 業務に際しては、調査職員との連絡を密に行い、地質状況を適宜報告すること。また、本特記仕様書に記載のない内容については、協議により決定する。

特 記 事 項

暴力団等の排除について

- (1) 受注者が、この契約の履行期間中に石巻市入札契約にかかる暴力団等排除要綱（平成20年石巻市告示第268号。以下「排除要綱」という。）別表措置要件に該当するときは、契約を解除することができる。
- (2) 受注者は、排除要綱の規定に基づく指名停止措置期間中の者並びに石巻警察署長又は河北警察署長（以下「管轄警察署長」という。）から排除要綱別表措置要件に該当する旨の通報を受けたものを石巻市が発注する建設工事等にかかる下請負人（一次及び二次下請け以降すべての下請負人及び資材、原材料の購入契約その他契約の相手方を含む。以下同じ。）又は再受託者（再受託以降のすべての再受託者を含む。以下同じ。）としてはならない。
- (3) 受注者は、指名停止措置期間中の者及び管轄警察署長から排除要綱別表措置要件に該当する旨の通報を受けたものを下請負人及び再受託者（以下「下請負人等」という。）としていた場合は、当該下請負人等との契約の解除を求めることがある。
- (4) 受注者は、この契約において、暴力団員及び暴力団関係業者（以下「暴力団員等」という。）による不当要求又は妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で、速やかに管轄警察署長に通報及び捜査上必要な協力（以下「警察への通報等」という。）を行うこと。
- (5) 受注者は、(4)により警察への通報等を行った場合には、速やかにその内容を記載した文書（石巻市が発注する建設工事等における不当介入マニュアル第2第2号に定める別紙様式（石巻市ホームページに掲載））により建設工事等担当課長に報告すること。
- (6) 受注者は、下請負人等に対しても、(4)及び(5)と同様の措置を指導すること。
- (7) 受注者又は下請負人等が、暴力団員等による不当介入を受けたことにより工程等に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、建設工事等担当課長と協議を行うこと。
- (8) 市長は、受注者が(4)及び(5)の内容について怠ったことが確認されたときは、指名停止措置を行うものとする。

委 託 料 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	設計				式	1			第1号業務内訳表
	測量				式	1			第2号業務内訳表
	地質調査				式	1			第3号業務内訳表
	解析等調査				式	1			第4号業務内訳表
	業務価格				式	1			
		消費税等相当額			式	1			
	業務委託料				式	1			

第 1 号 の 1 業 務 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
設計					式	1			
	管路施設実施設計業務（新設・詳細設計）				式	1			
		推進工法			式	1			第1号明細表
		報告書作成			式	1			第2号明細表
		設計協議			式	1			第3号明細表
		直 接 費			式	1			
			直接人件費		式	1			
		直接経費			式	1			
			電子成果品作成費		式	1			
		その他原価			式	1			

第 1 号 の 2 業 務 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	業務原価				式	1			
		一般管理費等			式	1			
	業務価格				式	1			

第 2 号 の 1 業 務 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
測量					式	1			
	測量業務				式	1			
		基準点測量			式	1			第4号明細表
		路線測量			式	1			第5号明細表
		直接費			式	1			
		直接経費			式	1			
			安全費(計算額)		式	1			
			電子成果品作成費		式	1			
	直接測量費				式	1			
	諸経費				式	1			

第 2 号 の 2 業 務 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	測量作業費				式	1			
	測量業務価格				式	1			

第 3 号 の 1 業 務 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
地質調査					式	1			
	地質調査業務				式	1			
		機械ボーリング			式	1			第6号明細表
		サンディング及び原位置試験			式	1			第7号明細表
		室内土質試験			式	1			第8号明細表
		解析等調査業務			式	1			第9号明細表
一般調査					式	1			
	直接調査費				式	1			
		直接業務費			式	1			
		直接経費			式	1			

第 3 号 の 2 業 務 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
			電子成果品作成費		式	1			
	間接調査費				式	1			
			運搬費		式	1			第11号明細表
			準備費		式	1			第12号明細表
			仮設費		式	1			第13号明細表
			安全費(計算額)		式	1			
	純調査費				式	1			
	諸経費				式	1			
	一般調査業務価格				式	1			

第 4 号 の 1 業 務 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
解析等調査					式	1			
	解析等調査業務				式	1			
		解析等調査			式	1			第10号明細表
		直 接 費			式	1			
			直接人件費		式	1			
		直接経費			式	1			
			電子成果品作成費		式	1			
		その他原価			式	1			
	業務原価				式	1			
		一般管理費等			式	1			

参考図書

[illegible][illegible]

[illegible][illegible]

路線測量 1式当たり明細表							
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
路線測量 作業計画		業務	1				第6号単価表
路線測量 現地踏査	交通量:0～1,000台未満/12時間 耕地 平地	km	0.35				第7号単価表
路線測量 仮BM設置測量	0～1,000台未満/12時間 耕地 平地	km	0.35				第8号単価表
路線測量 縦断測量	0～1,000台未満/12時間 耕地 平地	km	0.35				第9号単価表
路線測量 横断測量	0～1,000台未満/12時間 曲線数:0 耕地 平地	km	0.07				第10号単価表
合 計		式	1				

[illegible]

[illegible][illegible]

[illegible][illegible]

[illegible][illegible]

第1号の1 単価表		CIS0570 J01		推進工法(刃口、小口径) 1業務当たり単価表		管路施設実施設計 管路延長350(m) P115	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考	
[調査]資料収集(新設・詳細設計)	推進工法(刃口、小口径) 管路延長350(m)	式	1			第20号単価表	
[調査]公区調査(新設・詳細設計)	推進工法(刃口、小口径) 管路延長350(m)	式	1			第21号単価表	
[調査]現地踏査(新設・詳細設計)	推進工法(刃口、小口径) 管路延長350(m)	式	1			第22号単価表	
[調査]現地作業(新設・詳細設計)	推進工法(刃口、小口径) 管路延長350(m)	式	1			第23号単価表	
設計計画(新設・詳細設計)	推進工法(刃口、小口径) 管路延長350(m)	式	1			第24号単価表	
各種計算(新設・詳細設計)	推進工法(刃口、小口径) 管路延長350(m)	式	1			第25号単価表	
設計図作成(新設・詳細設計)	推進工法(刃口、小口径) 管路延長350(m)	式	1			第26号単価表	
数量計算(新設・詳細設計)	推進工法(刃口、小口径) 管路延長350(m)	式	1			第27号単価表	
照査(新設・詳細設計)	推進工法(刃口、小口径) 管路延長350(m)	式	1			第28号単価表	
合 計		業務	1				

[illegible][illegible]

第3号 単価表 CTS0810_J01		報告書作成(詳細設計) 1業務当たり単価表				管路施設実施設計	
名 称		規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
主任技師		9～10級	人				
技師 (A)		8級	人				
技師 (B)		6～7級	人				
技師 (C)		4～5級	人				
合 計			業務	1			
工法補正(%) A = 100			作業項目の補正(%) B = 100				

[illegible][illegible][illegible][illegible]

第20号	単価表	CIS0580 J01	〔調査〕資料収集(新設・詳細設計) 1式当たり単価表					推進工法(刃口、小口径) 管路延長350(m) P115
名 称	規 格	単 位	数	量	単 価	金 額	雑	摘 要
主任技師	9～10級	人						
技師 (A)	8級	人						
技師 (B)	6～7級	人						
技師 (C)	4～5級	人						
技術員	3級	人						
合 計		式	1					
作業項目 A = 01 〔調査〕資料収集		管路延長(m) B = 350		計画工区数 E = 1		その他の補正(%) F = 100		
設計条件補正(%) C = 100		地盤条件補正(%) D = 100		作業項目の補正(%) G = 100				

第22号	単価表	CIS0580 J03	〔調査〕現地踏査(新設・詳細設計) 1式当たり単価表					推進工法(刃口、小口径) 管路延長350(m) P115
名 称	規 格	単 位	数	量	単 価	金 額	雑	摘 要
理事・技師長	11級	人						
主任技師	9～10級	人						
技師 (A)	8級	人						
技師 (B)	6～7級	人						
技師 (C)	4～5級	人						
技術員	3級	人						
合 計		式	1					
作業項目 A = 03 〔調査〕現地踏査		管路延長(m) B = 350		計画工区数 E = 1		その他の補正(%) F = 100		
設計条件補正(%) C = 100		地盤条件補正(%) D = 100		作業項目の補正(%) G = 100				

第21号	単価表	CIS0580 J02	〔調査〕公図調査(新設・詳細設計) 1式当たり単価表					推進工法(刃口、小口径) 管路延長350(m) P115
名 称	規 格	単 位	数	量	単 価	金 額	雑	摘 要
技師 (A)	8級	人						
技師 (B)	6～7級	人						
技師 (C)	4～5級	人						
技術員	3級	人						
合 計		式	1					
作業項目 A = 02 〔調査〕公図調査		管路延長(m) B = 350		計画工区数 E = 1		その他の補正(%) F = 100		
設計条件補正(%) C = 100		地盤条件補正(%) D = 100		作業項目の補正(%) G = 100				

第23号	単価表	CIS0580 J04	〔調査〕現地作業(新設・詳細設計) 1式当たり単価表					推進工法(刃口、小口径) 管路延長350(m) P115
名 称	規 格	単 位	数	量	単 価	金 額	雑	摘 要
理事・技師長	11級	人						
主任技師	9～10級	人						
技師 (A)	8級	人						
技師 (B)	6～7級	人						
技師 (C)	4～5級	人						
技術員	3級	人						
合 計		式	1					
作業項目 A = 04 〔調査〕現地作業		管路延長(m) B = 350		計画工区数 E = 1		その他の補正(%) F = 100		
設計条件補正(%) C = 100		地盤条件補正(%) D = 100		作業項目の補正(%) G = 100				

第24号	単価表	CIS0580 J05	設計計画(新設・詳細設計) 1式当たり単価表				推進工法(刃口、小口径) 管路延長350(m) P115			
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要			
理事・技師長	11級	人								
主任技師	9～10級	人								
技師 (A)	8級	人								
技師 (B)	6～7級	人								
技師 (C)	4～5級	人								
合 計		式	1							
作業項目		A = 05 設計計画		計画工区数E = 1						
管路延長(m)		B = 350		その他の補正(%)F = 100						
設計条件補正(%)		C = 100		作業項目の補正(%)G = 100						
地盤条件補正(%)		D = 100								

第26号	単価表	CIS0580 J07	設計図作成(新設・詳細設計) 1式当たり単価表				推進工法(刃口、小口径) 管路延長350(m) P115			
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要			
主任技師	9～10級	人								
技師 (A)	8級	人								
技師 (B)	6～7級	人								
技師 (C)	4～5級	人								
技術員	3級	人								
合 計		式	1							
作業項目		A = 08 設計図作成		計画工区数E = 1						
管路延長(m)		B = 350		その他の補正(%)F = 100						
設計条件補正(%)		C = 100		作業項目の補正(%)G = 100						
地盤条件補正(%)		D = 100								

第25号	単価表	CIS0580 J06	各種計算(新設・詳細設計) 1式当たり単価表				推進工法(刃口、小口径) 管路延長350(m) P115			
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要			
主任技師	9～10級	人								
技師 (A)	8級	人								
技師 (B)	6～7級	人								
技師 (C)	4～5級	人								
技術員	3級	人								
合 計		式	1							
作業項目		A = 06 各種計算		計画工区数E = 1						
管路延長(m)		B = 350		その他の補正(%)F = 100						
設計条件補正(%)		C = 100		作業項目の補正(%)G = 100						
地盤条件補正(%)		D = 100								

第27号	単価表	CIS0580 J08	数量計算(新設・詳細設計) 1式当たり単価表				推進工法(刃口、小口径) 管路延長350(m) P115			
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要			
主任技師	9～10級	人								
技師 (A)	8級	人								
技師 (B)	6～7級	人								
技師 (C)	4～5級	人								
技術員	3級	人								
合 計		式	1							
作業項目		A = 09 数量計算		計画工区数E = 1						
管路延長(m)		B = 350		その他の補正(%)F = 100						
設計条件補正(%)		C = 100		作業項目の補正(%)G = 100						
地盤条件補正(%)		D = 100								

[illegible]

第30号		単価表		CIS0760_J02		条件設定(新設・詳細設計) 1式当たり単価表		管径延長(m) F124	
名 称		規 格		単 位		数 量		単 価	
主任技師		9～10級		人					
技師 (A)		8級		人					
技師 (B)		6～7級		人					
技師 (C)		4～5級		人					
合 計				式		1			
作業項目		A = 02 条件設定				その他の補正 (%)		H = 100	
工法		B = 04 推進工法(月口・小口径)				作業項目の補正 (%)		I = 100	
管路延長(m)		E = 350							

[illegible]

第31号		単価表		耐震計算(新設・詳細設計) 1式当たり単価表		管径延長(m) 1式当たり単価表		管径延長(m) 1式当たり単価表	
名 称		規 格		単 位		金 額		備 考	
技師 (A)		8級		人					
技師 (B)		6～7級		人					
技師 (C)		4～5級		人					
技術員		3級		人					
合 計				式		1			
作業項目		A = 03 耐震計算		その他の補正 (%)		H = 100			
工法		R = 04 推進工法(刃口・小口径)		作業項目の補正 (%)		I = 100			
管路延長(m)		E = 350							

[illegible]

第34号		単価表		CIS0830_J02		中間打合せ(詳細設計) 1回当たり単価表		設計協議	
名 称		規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
主任技師		9～10級		人					
技師 (A)		8級		人					
技師 (B)		6～7級		人					
合 計				回	1				
作業項目 A = 02 中間打合せ				業務内容 B = 01 通常の場合					

[illegible][illegible]

第36号	単価表	SC102042 J01	作業計画 35点当たり単価表				4級基準点測量 伐採なし 耕地 平地 P1-2-5	
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
測量主任技師	8級	人						
測量技師	6～7級	人						
測量技師補	3級	人						
機械経費		%						
通信運搬費等		%						
材料費		%						
精度管理費		%						
合 計		点	35					
単位当り		点	1					
区分 A = 01 作業計画 地域 B = 05 耕地				地形 C = 01 平地 伐採の有無 D = 02 伐採なし				

第38号			単価表			SC102042 J03			視測 35点当たり単価表			4級基準点測量 伐採なし 平地 平地 P1-2-5		
名 称		規 格		単位	数 量	単 価	金 額		雑	摘 要				
測量技師		6～7級		人										
測量技師補		3級		人										
測量助手		1級		人										
機械経費				%										
通信運搬費等				%										
材料費				%										
精度管理費				%										
合 計				点	35									
単位当り				点	1									
区分 地域		A = 04 視測 B = 05 平地				地形 有無	C = 01 平地 D = 02 伐採なし							

第37号		単価表		SC102042 J02		選点 35点当たり単価表		4級基準点測量 伐採なし 耕地 平地 P1-2-5	
名 称		規 格		単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
測量技師		6～7級		人					
測量技師補		3級		人					
測量助手		1級		人					
機械経費				%					
通信運搬費等				%					
材料費				%					
精度管理費				%					
合 計				点	35				
単位当り				点	1				
区分 地域		A = 02 選点 B = 05 耕地				地形C = 01 平地		平地 伐採なし	

第39号の1 単価表 SC102042 J04			計算整理 35点当たり単価表				4級基準点測量 伐採なし 耕地 平地 P1-2-5	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
測量主任技師	8級	人						
測量技師	6～7級	人						
測量技師補	3級	人						
測量助手	1級	人						
機械経費		%						
通信運搬費等		%						
材料費		%						
精度管理費		%						
合 計		点	35					
単位当り		点	1					

第39号の2		単価表		SC102042 J04		計算整理 35点当たり単価表		4級基準点測量 伐採なし 耕地 平地 P1-2-19		
名 称		規 格		単位	数	量	単 価	金 額	雑 撥	要
区分 A = 05 計算整理 地域 B = 05 耕地							地形 C = 01 平地 伐採の有無 D = 02 伐採なし			

第41号 単価表 SC104082 J05			計算 1km当たり単価表				路線測量 仮BM設置測量 耕地 平地 P1-2-19	
名 称	規 格	単位	数	量	単 価	金 額	雑 撥	備 考
測量技師補	3級	人						
測量助手	1級	人						
機械経費		%						
材料費		%						
精度管理費		%						
合 計		km	1					
	区分 A = 02 計算 地域 B = 05 耕地				地形 C = 01 平地 交通量 D = 01 0～1,000台未満/12時間			

第40号			単価表 SC104082 J04			測定設置 1km当たり単価表			路線測量 仮BM設置測量 耕地 平地 P1-2-19		
名 称		規 格		単位	数	量	単 価	金 額	雑 撥	備 考	
測量技師		6～7級		人							
測量技師補		3級		人							
測量助手		1級		人							
機械経費				%							
材料費				%							
精度管理費				%							
合 計				km	1						
区分 A = 01 測定設置 地域 B = 05 緑地							地形 C = 01 平地 交通量 D = 01 0～1,000台未満/12時間				

第42号			単価表 SC104082 J06			点検整理 1km当たり単価表			路線測量 仮BM設置測量 耕地 平地 P1-2-19		
名 称		規 格		単位	数	量	単 価	金 額	雑	摘 要	
測量技師		6～7級		人							
測量技師補		3級		人							
機械経費				%							
材料費				%							
精度管理費				%							
合 計				km	1						
区分		A = 03 点検整理					地形C = 01 平地				
地域B = 05 耕地							交通量D = 01 0～1,000台未満/12時間				

第43号			単価表			SC104092 J04			観測 1km当たり単価表			路線測量 縦断測量 耕地 平地 P1~2~20		
名 称			規 格			単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要			
測量技師			6～7級			人								
測量技師補			3級			人								
測量助手			1級			人								
機械経費						%								
材料費						%								
精度管理費						%								
合 計						km	1							
区分 地域			A = 01 観測 B = 05 耕地					地形 C = 01 平地 交通量 D = 01 0～1,000台未満/12時間						

第45号	単価表	SC104092 J06	点検整理 1km当たり単価表				路線測量 縦断測量 耕地 平地 P1~2~20	
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
測量技師	6～7級	人						
測量技師補	3級	人						
機械経費		%						
材料費		%						
精度管理費		%						
合 計		km	1					
	区分 A = 03 点検整理 地域 B = 05 耕地			地形 C = 01 平地 交通量 D = 01 0～1,000台未満/12時間				

第44号		単価表 SC104092 J05		縦断面図作成 1km当たり単価表			路線測量 縦断測量 耕地 平地 P1-2-20		
名 称		規 格		単位	数 量	単 価	金 額	雑 費	摘 要
測量技師		6～7級		人					
測量技師補		3級		人					
測量助手		1級		人					
機械経費				%					
材料費				%					
精度管理費				%					
合 計				km	1				
区分 A = 02 縦断面図作成 地域 B = 05 耕地						地形 C = 01 平地 交通量 D = 01 0～1,000台未満/12時間			

第46号 単価表 SC104102 J01			視測 1km当たり単価表				路線測量 横断測量 耕地 平地 P1-2~20	
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
測量技師	6～7級	人						
測量技師補	3級	人						
測量助手	1級	人						
機械経費		%						
材料費		%						
精度管理費		%						
合 計		km	1					
区分 A = 01 視測 地域 B = 05 耕地 地形 C = 01 平地 交通量 D = 01 0～1,000台未満/12時間		単曲線換算曲線数(箇所) E = 01 0 測点間距離 F = 04 30m 測量幅 G = 01 45m未満						

横断面図作成 1km当たり単価表						路線測量 横断測量 耕地 平地 P1~C<20	
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	備 考	
測量技師	6～7級	人					
測量技師補	3級	人					
測量助手	1級	人					
機械経費		%					
材料費		%					
精度管理費		%					
合 計		km	1				
区分 地形 交通量	A = 02 横断面図作成 B = 05 雑地 C = 01 平地 D = 01 0～1,000台未満/12時間	単曲線換算曲線数(箇所/km) 測量幅G = 01 30m	E = 01 0 F = 01 30m G = 01 45m未満				

第49号		単価表 B00000000001 A01		資機材運搬費 1回当たり単価表									
名	称	規	格	単位	数	量	単	価	金	額	差	摘	要
1777損料(運転)	クレーン装置付 ベース17774～4.5t積 吊能力2.9t	時間											
1777損料(供用)	クレーン装置付 ベース17774～4.5t積 吊能力2.9t	日											
軽油	バトロ-6給油 1.2号	L											
運転手(特殊)		人											
合 計		回			1								

第48号		単価表 SC104102 J03		点検整理 1km当たり単価表		路線測量 横断測量 補地 平地 P1-2-20	
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	種	備 考
測量技師	6～7級	人					
測量技師補	3級	人					
機械経費		%					
材料費		%					
精度管理費		%					
合 計		km	1				
区分 A = 03 点検整理 地盤 B = 05 雑地 地形 C = 01 平地 交通量 D = 01 0～1,000台未満/12時間		単曲線換算曲線数(箇所/km) E = 01 0 測点間隔 F = 04 30m 測量幅 G = 01 45m未満					

[illegible]

[illegible][illegible]

積 算 情 報 表

(R07GE00005-0)

P. 1

項 目	内 容	項 目	内 容
積算区分	委託	請負工事価格（税抜）	
変更回数	当初	変更請負工事価格（税抜）	
積算基準パターンの	54:令和6年度基準（消費税10%）R6.11適用 R6週休2日補正	増減/請負工事費	
施行主体名		請負人（1行目1列目）	
設計書名（1行目）	西流下刈場処理分区実施設計業務	請負人（1行目2列目）	
設計書名（2行目）		請負人（2行目1列目）	
設計書名（3行目）		請負人（2行目2列目）	
委託箇所 石巻市 地内	石巻市蛇田字東道下	請負人（3行目1列目）	
路線・河川名		請負人（3行目2列目）	
委託番号		起工理由（1行目）	
設計年度	令和07年度	起工理由（2行目）	
設計年月日	令和07年05月01日	起工理由（3行目）	
単価適用日付	令和07年05月01日（85）	起工理由（4行目）	
単価適用地区	01 石巻(旧石巻市・旧河南町・旧河北町・旧桃生)	起工理由（5行目）	
着工年月日	令和 年 月 日	起工理由（6行目）	
工期開始	令和 年 月 日	起工理由（7行目）	
工期終了	令和08年01月30日	施工方法其他（1行目）	
工期日数	0日	施工方法其他（2行目）	
①原請負契約[工期開始]	令和 年 月 日	施工方法其他（3行目）	
①原請負契約[工期終了]	令和 年 月 日	施工方法其他（4行目）	
落札額（消費税込）		分類	
当初設計額（消費税込）		保存期間	

積 算 情 報 表

(R07GE00005-0)

P. 2

項 目	内 容	項 目	内 容
起案（年）	0	細節	
起案（月）	0	付記	
起案（日）	0	予算額	
部・課名		配当額	
電話（内）		支出負担行為済額	
職・氏名		配当残額	
会計		今回支出負担行為額	
参考事項		支出負担行為累計	
国庫支出金		支出負担行為簿記入	
県支出金		依頼先名	
地方債		依頼者名	
一般財源		原契約締結（年）	0
計		（月）	0
款	0	（日）	0
項	0	変更契約締結（年）	0
目	0	（月）	0
節	0	（日）	0
款（科目）		決裁区分	
項（科目）		*** 業務 ***	設計
目（科目）		[設計] 種類(電子成果品作成費)	1：概略設計, 予備設計又は詳細設計
目（科目）2行目		[設計]旅費交通費	0：別途考慮
節（科目）		*** 業務 ***	測量

積 算 情 報 表

(R07GE00005-0)

P. 3

[illegible]

数量総括表(刈場処理分区実施設計業務)

[illegible]

測量調査(刈場処理分区実施設計業務)

1. 基準点測量

1km当り基準点配点割合

4級基準点測量

1～3級基準点(既知点) 1 点
設置延長 L= 0.35 km

1.0 km当りの配点割合

1,000 m ÷ 50 m = 20 点
新点数
20 点 × 0.35 km - (既知点数)
= 20 点 × 0.35 km - 1 = 6 点

2. 路線測量(横断測量)

設計延長 350 m
測点間隔 50 m毎
横断測量延長 10 m

横断測量延長

L= 350 m ÷ 50 m × 10 m = 70 m
0.07 km

地質調査業務(刈場処理分区実施設計業務)

項目		単位	当初数量	備考
工種	土質区分			
機械ボーリング	粘土・シルト	m		
	砂・砂質土	m	13	起点側5m+終点側8m=13m
	軟岩	m		
	計	m	13	
サウンディングおよび原位置試験	粘土・シルト	回		
	砂・砂質土	回	13	起点側5回+終点側8回=13回
	軟岩	m		
	計	回	13	
室内土質試験	現場透水試験 ケーシング法	回	2	
	土粒子の密度試験	試料	2	
	含水比試験	試料	2	
	粒度試験	試料	2	
資機材運搬		回	1	
準備及び後片付け		業務	1	
調査孔閉塞		箇所	2	
平坦地足場 高さ0.3m以下		箇所	2	
傾斜地足場 地形傾斜45~60°		箇所	—	
解析等調査業務	既存資料の収集・現地調査	業務	1	
	試料整理とりまとめ	業務	1	
	断面図の作成	業務	1	
	総合解析とりまとめ	業務	1	

【地質調査箇所】

